

社会科学

科目番号	1F-1	科目名	文化人類学Ⅰ
大学等名	長崎外国語大学	担当教員	小島居 伸介(国際コミュニケーション学科 教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	月曜日
教養・専門別	教養	時限	5限目
単位数	2単位	開講期間	令和5年4月11日(月)～令和5年8月3日(水)
授業定員	なし	開講時間	16時20分～17時50分(90分)「毎週木曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	授業中の課題作文及び期末レポートによる
開講場所	長崎外国語大学	実習費等	テキスト代
選考方法	書類選考	その他の特記事項	なし
連絡先	長崎外国語大学 教育支援課 TEL 095-840-2002 FAX 095-840-2001		

科目内容

文化人類学は「フィールドワーク」(現地調査)に基づく、世界の諸民族の文化に関する比較研究である。この授業では主に日本と東アジア・東南アジア諸国の事例によって、文化人類学の基本的な研究テーマ(家族・ジェンダー・子供、呪術・宗教と病い等)のいくつかについて学び、異文化理解のための基本的な知識と関心・態度を身につける。
(シラバスの詳細は長崎外国語大学ホームページ上のシラバスでご確認ください)

科目番号	3F-3	科目名	文化人類学Ⅱ
大学等名	長崎外国語大学	担当教員	小島居 伸介(国際コミュニケーション学科 教授)
開講形態	既存科目・後期	曜日	月曜日
教養・専門別	教養	時限	5限目
単位数	2単位	開講期間	令和5年9月26日(月)～令和5年2月3日(金)
授業定員	なし	開講時間	16時20分～17時50分(90分)「毎週木曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	授業中の課題作文及び期末レポートによる
開講場所	長崎外国語大学	実習費等	テキスト代
選考方法	書類選考	その他の特記事項	なし
連絡先	長崎外国語大学 教育支援課 TEL 095-840-2002 FAX 095-840-2001		

科目内容

文化人類学は「フィールドワーク」(現地調査)に基づく、世界の諸民族の文化に関する比較研究である。この授業では主に日本と東アジア・東南アジア諸国およびオーストラリアなどのアジア・太平洋地域の事例によって、開発とマイノリティ、グローバリゼーションとエスニシティ、ポストコロナル時代の文化研究など、文化人類学が取り組む今日的な諸問題について学び、異文化・現代世界の理解のための知識と関心・態度を身につける。
(シラバスの詳細は長崎外国語大学ホームページ上のシラバスでご確認ください)

言語

科目番号	30-1	科目名	ドイツ語演習Ⅱ
大学等名	長崎外国語大学	担当教員	坂本 彩希絵(国際コミュニケーション学科 准教授)
開講形態	既存科目・後期	曜日	金曜日
教養・専門別	教養	時限	3時限
単位数	1単位	開講期間	令和5年9月26日(月)～令和5年2月3日(金)
授業定員	なし	開講時間	13時00分～14時30分(90分)「毎週金曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	プレゼンテーション・筆記試験
開講場所	長崎外国語大学	実習費等	未定
選考方法	書類選考	その他の特記事項	独和辞典必携のこと。
連絡先	長崎外国語大学 教育支援課 TEL 095-840-2002 FAX 095-840-2001		

科目内容

独検4級対策講座

12月に実施されるドイツ語技能検定試験(独検)で4級取得を目指す学習者向け。不規則変化動詞、命令形、助動詞、前置詞に重点を置き、独検形式の問題演習を通して習得を目指す。独検前には8回程度しか授業がないため、その受講だけで4級に合格することは不可能であり、合格のためには独力での学習が必須となる。また、独検終了後も授業は継続され、その期間の学習も評価対象となる。

科目番号	30-2	科目名	ドイツ語演習Ⅳ
大学等名	長崎外国語大学	担当教員	坂本 彩希絵(国際コミュニケーション学科 准教授)
開講形態	既存科目・後期	曜日	木曜日
教養・専門別	教養	時限	4時限
単位数	1単位	開講期間	令和5年9月26日(月)～令和5年2月3日(金)
授業定員	なし	開講時間	14時40分～16時10分(90分)「毎週木曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	プレゼンテーション・筆記試験
開講場所	長崎外国語大学	実習費等	未定
選考方法	書類選考	その他の特記事項	独和辞典必携のこと。
連絡先	長崎外国語大学 教育支援課 TEL 095-840-2002 FAX 095-840-2001		

科目内容

独検3級対策講座

12月に実施されるドイツ語技能検定試験(独検)で3級取得を目指す学習者向け。主に過去の試験問題の解答演習を通して3級レベルのドイツ語への習熟(基礎的な文法体系全般の理解が求められる)を目指す。独検前には8回程度しか授業がないため、その受講だけで3級に合格することは不可能であり、合格のためには独力での学習が必須となる。また、独検終了後も授業は継続され、その期間の学習も評価対象となる。